

MSDS No. 2111

製品安全データシート

ホビックスタデイ株式会社
〒537-0011 大阪市東成区東今里3丁目22番24号

電話番号 06-6972-2881
FAX番号 06-6981-6132
作成者 武内 勇一
作成日 2012年11月7日
改定日 2013年4月19日

1. 化学物質等及び会社情報

1.1. 化学物質等の名称 : ボディペイントブラシ用インキ

1.2. 化学物質等の使用用途 : ボディペイントブラシ用インキ

1.3. 会社情報
ホビックスタデイ株式会社
〒537-0011 大阪市東成区東今里3丁目22番24号
電話番号 06-6972-2881
FAX番号 06-6981-6132

2. 危険分類性の要約

2.1. GHS分類

引火性液体 : 区分 3
目に対する重篤な危険性/目刺激性 : 区分 1
生殖毒性 : 区分 2
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 区分 3 (気道刺激性、麻醉性)



危険有害性情報

警告	引火性液体および蒸気
危険	重篤な眼の損傷
警告	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
警告	呼吸器への刺激のおそれ
警告	眠気またはめまいのおそれ

2.2. その他の危険有害性

なし

3. 組成、成分情報

3.1. 化学名又は一般名 : ボディペイントブラシ用インキ

3.2. 組成

化学名	CAS 番号	化審法番号	比率(%)
1-プロパノール	71-23-8		50-70

アクリル樹脂	非公開	10-15
赤色104号-(1)	18472-87-2	0-3
青色1号	3844-45-9	0-3
橙色205号	633-96-5	0-2
黄色4号	1934-21-0	0-1
水		10-30

4. 応急処置

- 目に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。目の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと、洗浄をつづけること。
- 皮膚に付着した場合: 皮膚を速やかに洗浄すること。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
- 吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の処置

- 消火剤: 小火災: 二酸化炭素、粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤
大火災: 耐アルコール性泡消火剤

使ってはならない消火剤: 棒状注水

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
保護具及び緊急時措置: 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
- 環境に対する注意事項: 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。漏出物を回収すること。
- 回収、中和: 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
- 二次災害の防止策: すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
 安全取扱い注意事項： すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 眼に入れないこと。
 接触、吸入又は飲み込まないこと。
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

技術的対策： 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。
 保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、
 かつ天井を設けないこと。
 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。
 保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、
 かつ、適切なためますを設けること。
 保管場所には危険物を貯蔵し又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
 保管条件： 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。-禁煙。
 冷所、換気の良い場所で保管すること。
 酸化剤から離して保管する。
 容器は直射日光や火気を避けること。
 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
 施錠して保管すること。
 混触危険物質： 「10. 安定性及び反応性」を参照。
 容器包装材料： 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度： 1-プロパノール 未設定

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)： 1-プロパノール
 日本産業衛生学会(2005年版)最大許容濃度 未設定
 ACGIH(2007年版) TLV-TWA 100ppm

設備対策： 製造業者が指定する防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。

保護具

呼吸器の保護具： 適切な呼吸器保護具を着用すること。
 手の保護具： 適切な保護手袋を着用すること。
 眼の保護具： 適切な眼の保護具を着用すること。
 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
 皮膚及び身体の保護具： 適切な顔面用の保護具を着用すること。

衛生対策： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态:	特異臭のする液体
pH	4-6
蒸気圧:	2.0kPa (20°C) (1-プロパノール)
蒸気密度:	2.1 (1-プロパノール)
粘度:	20-30cps
融点:	データなし
沸点:	データなし
発火点:	371°C (1-プロパノール)
引火点:	24.5°C
爆発範囲下限:	2.1vol%
爆発範囲上限:	13.7vol%
水溶性	非水溶性
比重	0.8-0.9

10. 安定性及び反応性

化学安定性
常温、常圧の条件下では安定。

避けるべき条件
高温への暴露

混触危険物質
強酸化剤

危険な分解性生物
一酸化炭素

危険な重合
おこらない

11. 有害性情報

			1-プロパノール
急性毒性	経口:	LD50(rat)	2695 mg/kg
	経皮:	LC50(rabbit)	4031 mg/kg

皮膚腐食性・刺激性 皮膚刺激

目に対する重篤な危険性/目刺激性 強い目刺激

感作性 データなし

生殖細胞変異原性 区分外

発がん性 データなし

生殖毒性 妊娠中のラットの発生毒性試験にて異常あり

特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)

ラット、マウスまたはウサギを用いた吸入暴露または経口投与試験において麻酔作用が認められたとの記述、ならびにマウスを用いた吸入暴露試験において気道刺激性を示唆する呼吸数の減少が認められたとの記述がある。

特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)
データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性 ミジンコ 48時間 LC50=3025mg/l

水生環境慢性有害性 データなし

13. 廃棄上の注意

内容物/容器を自治体の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

UN No.	1987
Hazard Class	3
Packing Group:	III

15. 適用法令

労働安全衛生法 別表第一引火性のもの、1-プロパノールは通知物質
危険則、港則法、航空法で引火物。
消防法(4類2石)

16. その他の情報

なし

記載内容は現時点で入手できるデータ・情報に基づいて、本製品を適正にご使用頂くために誠意を以って作成しておりますが、何れの情報もこれを保証するものではありません。全ての化学製品には未知の有害性が有り得る上、記載の注意事項も通常の手配を前提にしたものなので、ご使用に当たっては、用途、用法等実情に則した細心の安全対策を使用者自らの責任で講じた上でご利用ください。